

人間文化研究機構「北東アジア地域研究推進事業」

島根県立大学 NEAR センター拠点プロジェクト 第一回国際シンポジウム 2016

冷戦終了20余年の間にアメリカの影響力が相対的に低下し、中国、インド、ロシア等の存在感が増すなか、日本周辺の地域構造は大きく変容しつつある。日本・中国・ロシア・モンゴル・韓国・北朝鮮—これらの地域を一つの視野のもとに捉える準拠枠として「北東アジア」という地域概念に注目し、人間文化研究機構「北東アジア地域研究推進事業」が本年度始動した。島根県立大学北東アジア地域研究センターは思想・歴史のアイデンティティ研究部門の拠点を担う。「近代的空間の形成とその影響」を研究テーマとして、その第一回国際シンポジウムでは、世界史において「北東アジア」が地域としてのまとまりを形成し始める原初に立ち戻り、近代の胚胎期を共通テーマとして論じてみたい。

プログラム

11月19日(土)

島根県立大学学長挨拶 9:20-9:30
趣旨説明 9:30-9:40

第一セッション 「認識：自己認識あるいは歴史」 9:45-12:45

司会：李 曉東（島根県立大学 教授）
飯山 知保（早稲田大学 招聘研究員）
井上 治（島根県立大学 教授）
井上 厚史（島根県立大学 教授）
中村 喜和（一橋大学 名誉教授）
討論：岡 洋樹（東北大学 教授）

第二セッション 「統治理念」 14:00-17:00

司会：石田 徹（島根県立大学 准教授）
栗生澤猛夫（北海道大学 名誉教授）
茂木 敏夫（東京女子大学 教授）
岡 洋樹
都 賢喆（韓国 延世大学 教授）
討論：李 曉東

11月20日(日)

第三セッション 「交流」 9:15-11:45

司会：劉 建輝（国際日本文化研究センター 教授）
韓 東育（中国 東北師範大学 教授）
柳澤 明（早稲田大学 教授）
討論：波平 恒男（琉球大学 教授）
天野 尚樹（山形大学 准教授）
井上 治

総合討論 13:00-15:00

岡 洋樹
娜 荷 芽（中国 内モンゴル大学 講師）
パールィシェフ エドワルド（筑波大学 助教）

北東アジア 胚胎期の諸相

「近代的空間の形成とその影響」

使用言語 日本語
(通訳付)

入場無料
先着250名様

日程

2016年
11月19日(土) ▶ 20日(日)

会場

島根県立大学
交流センター2階
コンベンションホール

〒697-0016 島根県浜田市野原町2433-2



※浜田駅よりタクシーか路線バス「県立大学」行にご乗車ください。
会場周辺に食事処はありませんので、弁当・飲料をご持参ください。

問い合わせ：企画調整室

Tel : 0855-24-2201 Fax : 0855-24-2208

E-mail : kikaku@admin.u-shimane.ac.jp

URL : http://www.u-shimane.ac.jp/

主催：



島根県立大学北東アジア地域研究センター
(NEAR センター)

共催：



大学共同利用機関法人
人間文化研究機構